



日本歯科色彩学会
http://www.jacd-dc.jp

日本歯科色彩学会 ニュースレター

NO.67

日本歯科色彩学会事務局
日本歯科大学 新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座 内
〒951-8580 新潟市中央区浜浦町1-8 発行日/2021年9月30日
発行人/新海航一 TEL/090-211-8171 MAIL/jacd@ngt.ndu.ac.jp

会員のメールアドレスを学会事務局宛へお知らせ下さい

第28回日本歯科色彩学会学術大会を終えて

大会長 金子 潤
(明海大学保健医療学部口腔保健学科)

“東京2020”と同様に1年間の延期となっていました第28回日本歯科色彩学会学術大会を、2021年6月26日(土)、27日(日)の2日間の日程で開催することができました。何とか現地集合型の対面形式で行いたところでしたが、COVID-19感染拡大の影響により、Zoomを利用したWeb開催(ライブ配信)での実施となりました。無事に学術大会が終了できましたことを、ご参加いただきました会員の皆様、賛助会員の企業様ならびに関係各位に感謝申し上げます次第です。

本学術大会では、大会テーマを『チーム歯科医療が支える口元の色彩美』とし、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士がワンチームで患者さんの口元の審美性を構築・維持するための議論の場を提供できればと考えました。特別講演では、明海大学歯学部クラウンブリッジ補綴学分野の三浦賞子先生に「審美補綴装置の色調再現性を高めるために」と題してご講演をいただき、基礎的研究の整理から豊富な臨床例を含めて詳細に解説していただきました。エビデンスに裏付けられた臨床がいかに重要かを再認識させられるご講演でした。また、恒例の講習会は講習会委員会および認定士委員会との共催で3演題を準備いたしました。講習会1では本学会名誉会員でカラーランド・Labの元呑昭夫先生に「歯科色彩を応用する考

察あるいは提案」、講習会2では株式会社トクヤマデントルの関野雅人先生に「“オムニクロマ”直接充填の新潮流」、講習会3では株式会社インテグラルの永岡庸平先生に「最新2D,3D撮影装置を用いた皮膚表面、顔貌評価のご紹介」と題して、それぞれのお立場から歯科色彩学に関連する貴重なトピックスをご紹介いただきました。会員口演発表も5演題の申し込みがあり、参加者の活発な討論の場を提供できたのではないかと考えております。

当初学会会場に予定していた「山崎製パン企業年金基金会館」(千葉県市川市)を当日の大会運営本部とし、5F会議室に講師と座長の先生方、演者のみなさまをできる限りお招きして、ライブ配信を行いました。これはオンデマンドではなかなか達成できない双方向でのディスカッションを目指したものであり、年に1回は会員が(Web上ではありますが)一堂に会する場を設けるといった目的は果たせたのかなと考えております。ただ、リアルタイムゆえに大会中に通信環境が不安定となる時間帯もあり、ご参加のみなさまには大変ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

本学術大会には会員43名、非会員5名、学生2名の計50名の方々にご参加いただき、活発な学術交流を行うことができました。また、コーセーコスメトロ

ジー研究財団と協賛企業 6 社の支援を得て準備・運営を円滑に行うことができました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

次年度の第 29 回学術大会は新海航一会長のもと、

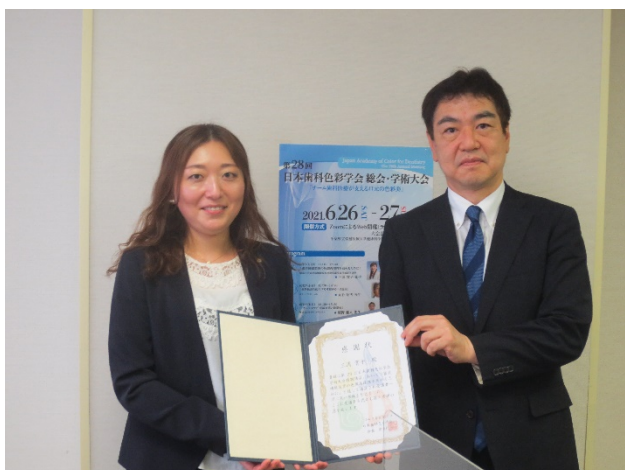
新潟市での開催が予定されています。ぜひとも対面形式で開催できるよう、そして会員の皆様と久しぶりにお会いできることを祈念しております。



大会運営本部の様子



Web 大画面上に映し出される参加者



特別講演の三浦賞子先生（左）



講習会 1 の元呑昭夫先生



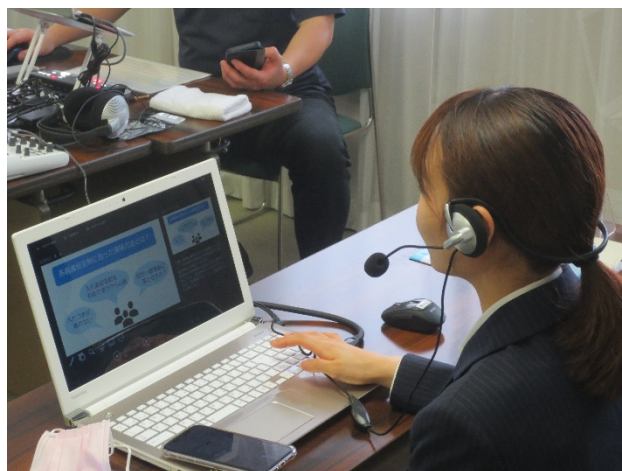
講習会 2 の関野雅人先生



講習会 3 の永岡庸平先生



控室で大会進行状況を見守る座長・講師陣



会員口演発表の様子

“特集” コロナ禍における奮闘記 Part II !

新型コロナウイルスの猛威はまだまだ収まりそうにありませんが、その中で会員の皆さんもいろいろ工夫しながら日常生活を何とか乗り切っていることと思います。前回の“特集”コロナ禍における奮闘記！が好評だったため、Part IIを企画いたしました。今回は、「歯科医院編」で長野県岡谷市ご開業の小澤

有美先生、「専門学校編」で埼玉歯科技工士専門学校の中山友克先生に原稿をお寄せいただきました。お忙しい中、原稿をご執筆いただいた先生方に心より感謝申し上げます。

(ニュースレター編集委員長 金子 潤)

コロナ禍における奮闘記 Part II ! 「歯科医院編」

理事 小澤 有美
(長野県岡谷市・湊歯科醫院)

少しずつ日が暮れるのも早くなり、2021年も残り3か月ほどとなってしまいました。新聞やTVでのコロナ関連のニュースは尽きませんが、日常生活に支障なく過ごせていることに感謝する日々です。しかし、歯科医師という職業で優先的に新型コロナワクチンをいち早く接種させていただいたお陰で安心して過ごせているのかなと思っています。ワクチン接種は、同じ県内でもかなり行政により地域差があるように感じますが先生方の地域ではいかがでしょうか？

梅雨明け前頃に、「歯科医師による新型コロナワクチン接種のための実技研修会」を受講してきました。学生時代のOSCEを思い出し久しぶりに少し緊張する場で実技研修を行ってきました。普段、歯科治療で使用する麻酔針より太く長いもので行うことに驚きました。自分がワクチン接種した時は、全く痛みもなく針を挿入した感覚もなかったため看護師さんの技術力？と感じながら、自分の臨床でも患者様に痛みを感じさせないようにしなければならぬと改めて思いました。

今現在、ワクチン接種の協力依頼要請はないので地域の医師会、中規模病院の先生方に感謝するばかりです。

まだまだ、新型コロナウイルスは進化をし続けており落ち着いた日常にはなりません、今のところ歯科臨床を行うにあたって不自由なくできていることにも様々な方々に感謝しなければなりません。当たり前前のことですが、歯科室がいつも清潔であるこ

と。患者様が安心して受診していただける場所を維持していくために気を引き締めなければいけないなと思っています。

日本そして世界中が、新型コロナウイルスの対応に模索している状況は続いております。一日も早い収束と穏やかな日々が過ごせることを願うばかりです。

コロナ禍における奮闘記 Part II！「専門学校編」

常任理事 中山 友克
(埼玉歯科技工士専門学校)

2021年9月現在、本校が位置する埼玉県では、新型コロナウイルス感染症対策として3回目の緊急事態宣言が発令中です。緊急事態宣言中のコロナ禍真っ只中ですが、これまでの本校の取り組みを紹介します。

本校ではコロナ禍以前より、学生はiPadを教材の一つとして普段から活用しており、ICTを活用した教育支援システムと独自開発した教育アプリの活用、オンデマンド・コンテンツのライブラリ化を推進して、学生に多様な学びの機会を提供してきました。ハードウェアとソフトウェアの両面が整っていたため、2020年4月、いち早くオンライン授業を開始しました。

オンライン授業の実施にあたっては、対面でも十分に学修成果があげられるよう、オンラインミーティングツール「zoom」を全ての教員が活用できるように準備し、既に構築していた学生・教員向けの「eラーニングサイト」と連携して、オンライン授業の充実化と活用のための支援体制を整えるなど、日々、工夫と努力を重ねています。

学生の安全を第一としながら、学校施設を活用して実習を行うため、校内での感染を防止としてマスクの着用、手洗い、手指消毒などの感染症に対する標準予防策を徹底するとともに、飛沫感染防止のために実習机に合わせて製作したアクリルパネルの設置

(写真1)、ウイルス不活化のためのオゾン発生装置を各教室への設置、校内ソーシャル・ディスタンスの確保など教室環境の整備を施しました。

全人口における2回目のワクチン接種率が50%を超え、新型コロナ感染の第5波も新規感染者のピークを過ぎつつありますが、今後も新たな変異株の発生や向寒に伴って第6波の流行が予想されています。「after コロナ」の一日も早い到来を祈りつつ「with コロナ」という難局を新しい生活様式と学習形態の実践によって乗り越えていけるよう日々奮闘しています。

日本歯科色彩学会の会員の皆様におかれましては、コロナ禍での診療や教育などに日々腐心されているところと拝察いたします。どうぞ御身体に気をつけて、健やかな毎日をお過ごしください。



写真1 実習室パネル

故 桑田正博先生を偲んで

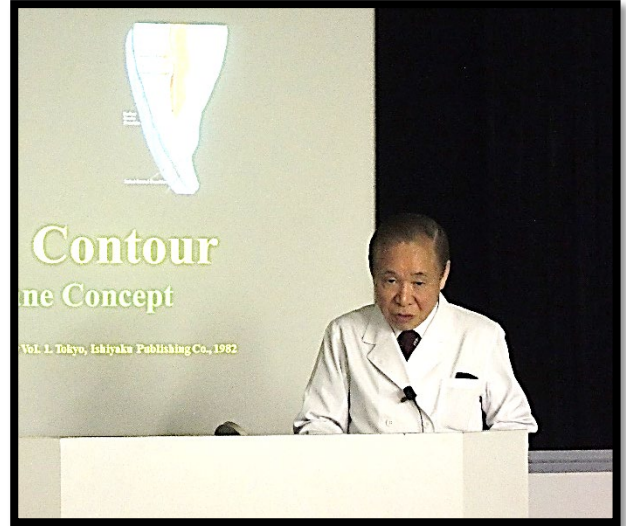
常任理事 中山 友克 (埼玉歯科技工士専門学校)

本学会名誉会員の桑田正博先生が7月16日逝去されました。享年84歳でした。

桑田先生は1956年歯科技工士としてのスタートを切れ、1962年に渡米され、咬合ではDr.C.H.Schuyler、歯周補綴ではDr.R.S.Stein等、現代歯科医学の礎を築かれた先生方との臨床や研究を通じて交流を深められました。

P.F.M.の発明者であるDr.S.Katzと共にポーセレンの物性や金属との結合機構について研究され、色彩の分野では、いち早く透明度を基準化するために光学検査の実施や着色剤であるピグメントの研究を通してP.F.M.の普及と審美性の向上に多大なる貢献をされました。

本学会では設立の発起人に名を連ねられ、当初より常任理事の要職に就かれ、第2回学術大会のシンポジウム「歯の色と色彩学」のモデレーター、第7回



故 桑田正博先生

学術大会の大会長を務められました。

桑田先生の多大なるご功績に敬意を表しますとともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

学会事務局よりお知らせ

幹事 鈴木 雅也 (日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座)

学会事務局が新潟に移ってから二期目に入りました。今もなお集合形式での学会活動は難しい状況がありますが、昨年来から急速に普及したオンライン形式は遠方の方でも時間の制約が少なく、気軽に参加できる利点がございます。是非とも学術大会、見学会・講習会へご参加いただければと存じます。

新規入会の方法、住所やメールアドレスの変更、退会につきましては学会メールアドレス(jacd@ngt.ndu.ac.jp)にお知らせ下さい。また、何かご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

【編集後記】

第28回日本歯科色彩学会総会・学術大会が大会長 金子 潤先生(明海大学保健医療学部)の下、初のオンラインによって開催されました。

当日は縁あって配信会場で参加させていただきま

したが、通常の大会とは異なるご準備と運営に大変ご苦労されたことと拝察します。大会長をはじめ参加された皆様、お疲れ様でした。

コロナ禍のニュースばかりがテレビで取り上げら

れる中、米パデュー大学ルアン氏の研究チームが開発した、光の 98.1%を反射するという世界一白い塗料がギネス世界記録に認定され、その 2022 年版に掲載されたことがニュースになりました。

賛されていますが、コロナ禍の暗い世界を照らす一筋の希望のように明るいニュースが一服の清涼剤になりました。

(中山 友克)

「地球を救うかもしれない世界一白い塗料」と絶



日本歯科色彩学会ニュースレター編集委員会 金子 潤、中山 友克、小澤 有美